

ふれあい市民アンケート

「協働のまちづくり」の結果について

1. ふれあい市民アンケートとは

市民と行政が協働する地域社会を実現するため、市の施策に対する市民の意向を把握し、市の施策に市民の声を反映させるためにあらかじめ登録していただいた市民の方に対しアンケート等を実施します。

20年度については、78名の方に登録をいただきました。

2. 調査期間

平成20年12月 4日 発送

12月24日 回答期限

3. 発送状況, 回収結果

登録者	78人
回答者	71人
回収率	91.0%

「協働のまちづくりアンケート」集計表

① 次のような活動に参加したことはありますか

	回答数	構成比
道路や公園などの地域の清掃活動	48	27.4%
地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの地域のふれあい行事	32	18.3%
ごみの分別、減量化などの環境活動、リサイクル活動	29	16.6%
防災訓練や夜間の見回りなどの防犯活動	14	8.0%
団体や施設などでのボランティア活動	10	5.7%
青少年を健やかに育てるための活動	9	5.1%
まちに緑や花を増やす美化活動	8	4.6%
子育て支援活動	6	3.4%
お年よりのお世話など地域の福祉活動	5	2.9%
特になし	5	2.9%
文化、スポーツなどのイベントの企画や運営	3	1.7%
文化、教養、スポーツ活動の指導	3	1.7%
その他	2	1.1%
無回答	1	0.6%
計	175	100.0%

② 地域活動や市民活動に参加する場合、どのようなグループで参加しますか。

	回答数	構成比
自治会で	56	51.9%
個人で	17	15.7%
子ども会で	7	6.5%
その他	7	6.5%
NPOやボランティア団体で	6	5.6%
老人会で	5	4.6%
消防団で	3	2.8%
職場で	2	1.9%
学校で	2	1.9%
P T Aで	1	0.9%
無回答	2	1.9%
計	108	100.0%

③ 地域活動や市民活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいと思いますか。

	回答数	構成比
友人や地域の人等、身近な人と一緒に参加できる	53	19.4%
自分の都合にあわせて、わずかな時間で参加できる	49	17.9%
簡単に参加できる	32	11.7%
趣味や特技を生かせる	27	9.9%
個人で参加できる	24	8.8%
専門知識を身に付ける研修、講座が用意される	21	7.7%
活動先や団体についての情報を得られる	15	5.5%
ケガなどの場合に備えて保険に加入できる	15	5.5%
交通費など実費が支払われる	8	2.9%
職場で休暇の対象となる	6	2.2%
職場の理解が得られる	6	2.2%
活動した人は、将来必要なときに同じサービスを受けられる	6	2.2%
活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	4	1.5%
金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	4	1.5%
特になし	2	0.7%
その他	1	0.4%
無回答	0	0.0%
計	273	100.0%

④ 今後、③の条件があれば、どのような活動に参加したいと思いますか。

	回答数	構成比
道路や公園などの地域の清掃活動	28	13.4%
まちに緑や花を増やす美化活動	27	12.9%
文化の伝統行事、祭りや盆踊りなどの地域のふれあい行事	26	12.4%
お年よりのお世話など地域の福祉活動	20	9.6%
ごみの分別、減量化などの環境活動、リサイクル活動	20	9.6%
団体や施設などでのボランティア活動	18	8.6%
青少年を健やかに育てるための活動	13	6.2%
子育て支援活動	13	6.2%
防災訓練や夜間の見回りなどの防犯活動	13	6.2%
文化、スポーツなどのイベントの企画や運営	9	4.3%
文化、教養、スポーツ活動の指導	9	4.3%
特になし	9	4.3%
その他	1	0.5%
無回答	3	1.4%
計	209	100.0%

⑤ 地域活動に関心がありますか。

	回答数	構成比
非常に関心がある	11	15.5%
ある程度関心がある	47	66.2%
あまり関心がない	10	14.1%
全く関心がない	0	0.0%
無回答	3	4.2%
計	71	100.0%

⑥ ここ1年間で、どのくらい参加していますか。

	回答数	構成比
月に1～2日	19	26.8%
2～3ヶ月に1～2日	15	21.1%
年に1～2日	14	19.7%
半年に1～2日	8	11.3%
参加したことはない	7	9.9%
週に2～3日	2	2.8%
週に1日程度	2	2.8%
ほとんど毎日	1	1.4%
無回答	3	4.2%
計	71	100.0%

⑦ 市民活動に関心がありますか。

	回答数	構成比
非常に関心がある	4	5.6%
ある程度関心がある	37	52.1%
あまり関心がない	26	36.6%
全く関心がない	2	2.8%
無回答	2	2.8%
計	71	100.0%

⑧ ここ1年間で、どのくらい参加していますか。

	回答数	構成比
参加したことはない	34	47.9%
年に1～2日	17	23.9%
月に1～2日	7	9.9%
半年に1～2日	4	5.6%
2～3ヶ月に1～2日	3	4.2%
週に2～3日	2	2.8%
ほとんど毎日	1	1.4%
週に1日程度	0	0.0%
無回答	3	4.2%
計	71	100.0%

⑨ 市からの情報は主に何でお知りになりますか。

	回答数	構成比
広報とみさと	62	48.1%
区・自治会回覧	45	34.9%
議会報	6	4.7%
地域情報誌	4	3.1%
市ホームページ	4	3.1%
知人を通じて	3	2.3%
議会、議員を通じて	2	1.6%
会議や説明会を通じて	1	0.8%
加入している団体を通じて	1	0.8%
新聞・テレビ・ラジオ	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	0.8%
計	129	100.0%

⑩ 市からの情報は十分に市民に伝わっていますか。

	回答数	構成比
十分に伝わっている	3	4.2%
どちらかと言えば伝わっている	35	49.3%
どちらかと言えば伝わっていない	24	33.8%
伝わっていない	8	11.3%
無回答	1	1.4%
計	71	100.0%

⑪ 市民からの意見や要望は十分に市に伝わっていると思いますか。

	回答数	構成比
十分に伝わっている	2	2.8%
どちらかと言えば伝わっている	18	25.4%
どちらかと言えば伝わっていない	35	49.3%
伝わっていない	13	18.3%
無回答	3	4.2%
計	71	100.0%

⑬ 「協働のまちづくり」を進めるうえで、どのような施策が必要だと思いますか。

	回答数	構成比
市政に関する情報を分かりやすく公開する	37	14.2%
市民の声を施策に反映させるシステムをつくる	28	10.8%
自治会などの既存の組織と、その他の団体との連携・協力を進める	25	9.6%
まちづくり活動に参加できる機会を提供する	24	9.2%
行政の意識改革や人材育成に努める	20	7.7%
地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	19	7.3%
活動団体やグループを資金面で支援する	14	5.4%
ボランティア保険など活動中の事故への対応を確立する	14	5.4%
情報・活動の拠点となる場所を提供する	13	5.0%
行政組織の改革、強化に取り組む	11	4.2%
研修や講習会、学習の機会を充実させる	11	4.2%
まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする	11	4.2%
行政に専門部署をつくるなど推進体制を整備する。	10	3.8%
市民が市政に参画していくための条例などのルールをつくる	8	3.1%
活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など）	6	2.3%
特にない	3	1.2%
その他	2	0.8%
無回答	4	1.5%
計	260	100.0%

協働についての自由記入結果

(12) 協働や市民協働といった言葉からどのようなことを連想しますか。
また、協働や市民協働に期待することはありますか

【協働の連想・期待など】

1. 市民と行政が密に意見を交換し合い、市民が望んでいるような、地域社会の構築に向けお互いに協働しあう社会。
2. “助けあえる”又は協力しあえる、そんなふうに連想できます。地域社会から、どんな小さな事でも役立てる様な期対するよりも自らが進んで働きかけなければ市民としても、また一個人としても明るいまちづくりへの一歩は踏み出せないと思う。
3. 青少年育成、子育て支援や障害者施設の理解等は地域一体となってやらなければ、成果が上がらないと思いますので、協働はとても良いことだと思います。
4. 私たち市民が市政に対して要望するのに対し、市政から市民へのメッセージと考えます。国が地方に政策を委譲するように市から住民に判断を促す施策だと思います。自分たちの暮らしは自分達で良くして行くかなければ成り立たなくなる。身の周りのできる事は自分でやりまた助け合い、それ以外の専門的な分野においては行政に委ねる。
5. 様々な団体の活動を市民に理解してもらうことによって、活動や資金面で協力を得られやすくなると思います。
6. 市民が互いに助け合い協力しあって事を成しとげる。
7. 市、自治会、個人、事業者が個々に活動しても限界がある。各々が横の連係をとり一体化することにより大きな力となる。
8. 協働とは一人では中々出来えない事を皆で成る仕事を協同で作業し何倍も能率を得る事かな。
9. 市民が協力しながら、ある目的遂行のために働き合うのでは、そこから連想されるのは、郷土愛、人間愛といったものが生まれ、ひいては世界平和の礎となっていくのではなかろうか。
10. 富里市民全体が協力のもと、富里市をもっと素晴らしく発展する市にする。
11. 「協働とは目的達成のために構成するメンバーがお互いにその目標に向かって協力し合い、助け合って共に汗を流し目的達成のために共に働くこと」と理解しています。人は往々にして自分の利害に直接影響がない場合無関心を装う場合が多いかと思われます。
12. その地域に関わり合いのある人たちが協力しあって推し進めていく。
13. 労働者、農民、一般勤労者、中小企業家などに皆が心、力、助け合って協働参加して行ったらいい
14. 言葉からは＝お互いの協力 助け合う気持ち 達成感があるかないかに

よってその人なりの、やって良かった悪かったと、きめていると思います。

15. まず、「協働」という言葉を見て、うまい！！コピーダナーッと感じました。こういった、キャッチコピーを考えつくのは、市の活動に対する、積極的な姿勢を感じました。
16. 明るい町づくり。
17. ボランティア活動
18. 自治会の行事(草取り、側溝清掃)
19. 市の行事(学校の草取り、道路清掃)

【協働の疑問, 不満など】

1. 一般の人には、とてもわかりづらい。
2. 余り言葉になじみがないので協働よりも共同という文字のイメージしか理解できない。
3. 連想出来ません。名称が悪いと思います。
4. 期待できません。
5. 協働？ピンときませんね。私は普段の生活の中で協働という言葉を使いません。連想することは行政と市民又は団体(ボランティアグループ等)が協力して活動することでしょうか？もう少しわかりやすい言葉に置きかえないと参加する市民も、ごくかぎられた人たちになってしまいそうな気がします。
6. 協働というと働かなければと少し負担を感じます。協力ならできるが協働というと責任を感じ消極的になってしまいます。
7. 私は自治会活動をしています。市の熱意が全く伝わってこない。みんな自治会まかせで何かあれば協定とか言う事をもちだし市民にはそんな事は関係ないのに。
8. 自治会離れが近年進んでいるが自治会の負担が非常に大きいので、みんな役員をやりたいがらない、こんな現状で協働や市民協働という、お役所の言葉を使われても期待も何もない。
9. 協働は働く者がある目的をもって協力し合う、助け合うと、私は受けとめ、市民労働者の組合を連想します。市民全体で市政を考える団体ならばちょっと市民を重視した文言にしたらいいと思う。文言に“働”の文字に疑問を考じます。
10. 富里市協働からは市と協力して働く。市と市民との一帯化を連想するが、協働、市民協働のみでは、市民同志が協力して何かをなしとげるということを連想させる。
11. 「市」と「市民」の協働では、結局市民が主体となるだけで、市はスタートに関わるだけ、というイメージがあります。少なくとも、富里市は、そうだと思います。

12. まず協働と言うことばの意味が分らない。おそらく市民参加の地域活動という意味であろうが、よく意味が理解出来ないので、一部の人が、又は行政が「何を言っているのか」という反発があります。事務用語は用いるべきでないと思う、そこで止まってしまうと考えます。
13. 協働と協力の違いは何か？
14. 協働、共同、協同等似たような文語がありますが、その持つ意味、解釈を理解、認識することが必要であると実感。
15. この言葉をあまり良く理解出来てないので申し訳ございません。文字の通りなのでしょうけど…。

【協働の提案など】

1. 市民に誤解をまねかないように、誰もが共通理解がなされるように努めてもらいたい。
2. 現在「市」の下に「区」がありますが「協働のまちづくり」の推進には「区長会」が大きな役割を果たすのではないのでしょうか。対価については、ある市では「ボランティア活動」に対し地域商店会の優待チケットを配布するシステムを用いて地域の活性化を図っている所もあるようです。実益が伴って良い反面、活動の序列化や差別化も起こるのではないのでしょうか。詳細については実態調査が必要でしょう。
3. 「ボランティア活動」をする事による将来への見返りについては、活動数値の設定や管理そして長期保証の確保といった行政への負担が確実に増えるでしょう。また活動におけるリスクについてはボランティア保険などがあると聞きますが、原則として自己責任のもとで行ってはどうでしょうか。
4. 大切なのは「協働のまちづくり」が行政のスリム化や合理化と一体であるという事。そして「次世代へのより良い環境づくり」が基本となった条例が求められるのではないのでしょうか。
5. 文部科学省が推進している「総合型地域スポーツクラブ」のように、市民の「誰でも、参加したい時、参加したい活動を選んで楽しくできる」ことが可能なシステムであって欲しい。
6. 相互信頼し富里に住んで良かったと思うような街づくりをしてほしい。
7. いろんな角度から見た巾広い活動を期待します。
8. 好む、好まざるに関わらず、何らかの形で地域活動等に参加することは、市の運営に関心を持つことに繋がっていくと思われる。例えば、市からの情報も自らの関心の度合で異なってくる情報も広報のみでは十分伝わっているとは言えない。自ら関心を持つことによって、知り得るもので有り、意見や要望も市に伝えるという行動に出る事で十分伝わっているかどうかを知り得るものである。意見や要望も市民協働により、まとめ、より実現に近づく物と考える。そういった観点から市運営に関心を持ち続けら

れる協働を期待する。

9. 利益を得るための集団や組織と違い「ボランティア精神」を基本として無償の行為を期待することが大きいいため実現にはかなりの困難が伴うものと思います。行政側に対する市民の期待は冷めた見方が多いように感じます。市民個人個人が暮らしの中で何を考え、何を期待し、どうしたいのか等々についての市民の生の声や情報は市の職員の方々が市民に直接接し、面談、会話、コミュニケーションの中で吸収され生かされる方策を考えられることを期待したいと思います。
10. もう少し市民の細かい所に目を向けてほしいと言うのが自治会をしている市民の声です。本当に困っている、お年寄りや体の不自由な方がいます。本気になって目を向けて下さい。
11. 市民の行事にゴミゼロの時の様な日ももう少しふやし地域や町、市を美しくしたい。
12. 市民の意見、要望などを市が得る方法として、今まではアンケート形式のことが多かったような気がします。アンケートという方法は、必ずしも正確に意見を、吸い上げる方法とは言えず、むしろ、かなり曖昧なものになり易いと思います。より正確を期する為には、直接対話が一番だと思います。
13. 期待することは＝困ったことがあっても知識がとぼしかったり、相談できる人が側にいなかったりすると、落ちこんでしまう気持ちは、誰でもあると思う声がけや相談に行きやすい雰囲気をもってほしい